

2021

SEMI-ANNUAL REPORT

2020.4.1—2020.9.30

Power of Equity

私たちアイ・アール ジャパンは、議決権の力を軸に資本市場の発展に向け、付加価値の高いサービスを提供するコンサルティング企業です。

CONTENTS

株主の皆さまへ.....	1
業績について.....	3
下期の取り組みについて.....	4
「ジャパンメイド・インベストメントバンク」とは.....	5
株式の状況.....	6

Power of Equityは株式会社アイ・アール ジャパンの登録商標です。

IR Japan Holdings, Ltd.

証券コード: 6035

株主の皆様へ

「ジャパンメイド・インベストメントバンク」として「Power of Equity® (株式議決権の力)」を掲げた高度かつ最先端のPA・FAソリューションを提供してまいります。

「企業再編」、今まさに当社のお客様である上場企業にとって、今後の成長戦略において避けて通ることのできない最重要テーマです。コロナ禍、気候変動、ナショナリズムの台頭等いままで穏やかであった企業環境に覆いかぶさるリスクは、急速に企業経営を圧迫しつつあり、いよいよ我が国の経営陣により強靱な企業への進化、すなわちストラテジックパイヤーとしての企業価値・株主価値の向上を求め「企業再編」の選択を余儀なくさせる時代が静かに到来いたしました。

今後も、友好的、敵対的問わずTOB (株式公開買い付け) は恒常的に実施され、かつ企業価値、株主共同の利益の向上に後れをとっている経営陣には、アクティビストがカタリストとして市場でのプレゼンスを高め、新たな経営陣の選解任等の株主提案を積極的に提案することが自明です。

「企業再編」に必ず活用される手段が、TOB、ならびに株主提案、臨時株主総会の招集であり、この戦略立案、エクゼキューションにおいて、我が国において圧倒的な実績を有する企業が当社です。Power of Equity (株主の議決権の力) をコーポレートアイデンティティーに掲げ、全世界の議決権情報を24時間徹底的に収集・分析するAIによって、唯一無二のエクイティ・コンサルティング企業へと成長を遂げてきました。そして今PA・FA業務を更なる深化させ、まさに我が国で生まれ、我が国の市場変化とともに成長する「ジャパンメイド・インベストメントバンク (和製投資銀行)」としての更なる飛躍が視野に入っております。

今後もコロナ禍等リスクは常態化すること念頭に、「企業再編」時代において、我が国の上場企業のお客様一社一社に寄り添うことを絶対視しながら、世界基準に引けを取らない高度で、適切で、聖域を設けない全く新しいエクイティ・ソリューションを最大のスピードで提供してまいります。株主の皆様には、変化する時代をしっかりと見極め、「ジャパンメイド・インベストメントバンク」として次なるステージへと成長をし続ける当社をご覧に頂きたく、引き続き温かいご支援を賜りますこと、心からお願い申し上げます。



IR Japan Holdings, Ltd.

代表取締役社長・CEO

寺下史郎

業績について

上期の取り組みについて

当第2四半期連結累計期間は、上場企業の株主総会における議決権行使の判断基準の厳格化の流れが、議決権行使助言会社ならびに海外・国内の機関株主の間でコロナ禍による免責ムードにより一時的に緩和され、また、アクティビストならびにストラテジックバイヤー（事業会社）における企業支配権争奪においても、水面下においては以前に増して活発な動きをしておりますが、表面的には静かな様相を呈しました。当社においてはフロント体制を自宅勤務から感染予防を徹底したオフィス勤務に全面的に移行したことが奏功し、主力のSRコンサルティングならびにPA*1・FA*2等の大型プロジェクトの受託も前年同期を大きく上回り、引き続き過去最高の売上、利益を達成しました。当第2四半期連結累計期間の業績は第1四半期に開示した売上高、利益予想を下回りましたが、この要因は一部の大型案件が第3四半期以降の業務完了となることによるものです。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比べ20.7%増加の4,102百万円、営業利益は同38.1%増加の2,035百万円、経常利益は同38.0%増加の

2,030百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同36.7%増加の1,380百万円となり、いずれも過去最高を達成いたしました。

配当について

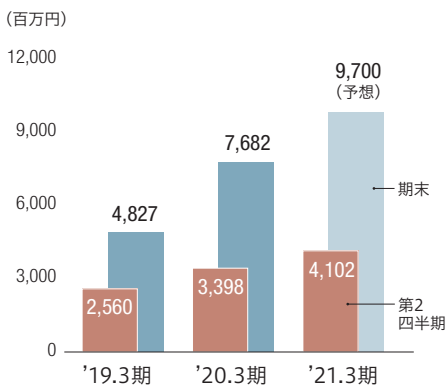
当期の配当は、中間配当として1株につき25円、期末配当として1株につき45円の年間70円を前回予想しておりましたが、通期連結業績予想を踏まえ、中間配当は、10円引上げの1株につき35円とすることを決議しました。期末配当につきましても、5円引き上げの1株につき50円を予定しております。これにより年間配当額は中間配当と合わせ85円となり、前期に比べ15円の増配となる予定です。

また、自己株式の取得に関しては、株価水準に応じて、適時、適切かつ機動的に行う予定であります。

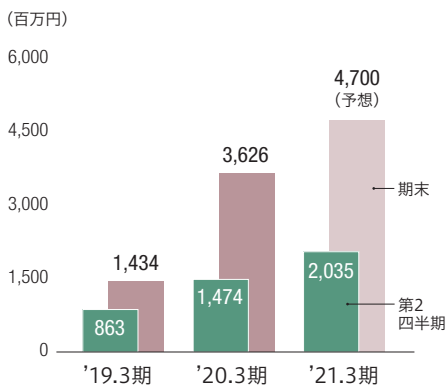
*1 PA業務：プロキシ・アドバイザー業務：委任状争奪戦業務、圧倒的な勝利の実績を誇る。

*2 FA業務：フィナンシャル・アドバイザー業務：アクティビスト対応、敵対的TOB対応、高度なMBO、M&Aにおいて日本最大級かつ先鋭の専門集団を配備する。

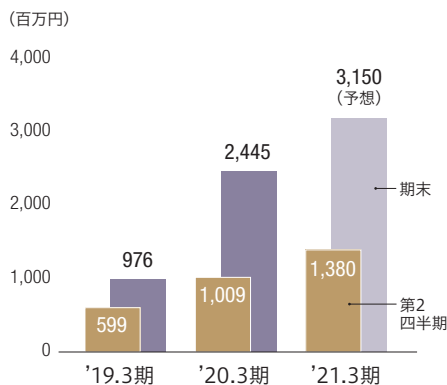
売上高



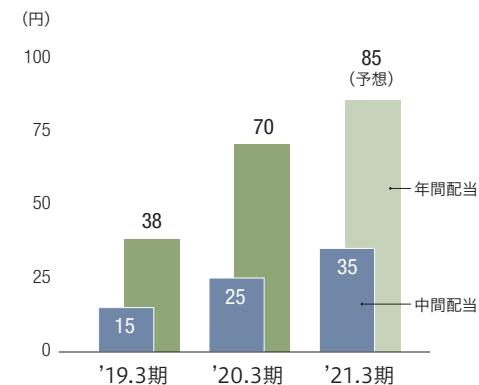
営業利益



親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益



配当金の推移



下期の取り組みについて

下期の取り組みについて

当社の中核サービスを担うIR・SRコンサルティング事業においては、アクティビストによる臨時株主総会招集等の活発化ならびに来期の議決権行使判断基準の厳格化等により、SRアドバイザーの需要は活性化する見込みです。また、ESG関連のコンサルティングのニーズが昨今急速に高まっており、当社が得意とする「G」に加え、「E・S」についてもAIデータベースを最適に活用しながら、競争力の高いSRとESGが一体となったコンサルティングを提供していきます。

下期においても引き続き、SRコンサルティング部隊ならびに投資銀行部隊を中心として、徹底した「お客様に寄り添う」姿勢を貫きながら、増強されたAI、リサーチ部隊のデータベースをフル活用し、「Power of Equity®(株式議決権の力)」を掲げた高度かつ最先端のPA・FAソリューションを武器に、ディフェンスならびにオフェンスサイ

ドにて大型プロジェクトの受託を拡大させていきます。

通期業績予想について

2020年10月30日時点において、新型コロナウイルス感染症による影響は、依然として不透明な状況となっておりますが、2021年3月期の連結業績予想に関しては、SR業務の順調な拡大とともに、PA・FAの投資銀行業務の大型プロジェクトの受託が増加することを見込み、通期見通しにおける売上高は前期より2,017百万円増加し9,700百万円、営業利益は前期より1,073百万円増加し4,700百万円、経常利益は前期より1,078百万円増加し4,690百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期より704百万円増加し3,150百万円と発表しました。

2021年3月期連結業績予想(2020年10月30日時点)

	当期見通し (2021年3月期)			前回見通し (2020年7月31日時点) (2021年3月期)		前期実績 (2020年3月期)	
	金額 (百万円)	前期増減 (百万円)	前期増減率 (%)	金額 (百万円)	前期増減率 (%)	金額 (百万円)	前期増減率 (%)
売上高	9,700	2,017	26.3	9,000 ~9,500	17.2 ~23.7	7,682	59.1
営業利益	4,700	1,073	29.6	-	-	3,626	152.8
経常利益	4,690	1,078	29.9	-	-	3,611	149.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,150	704	28.8	-	-	2,445	150.3

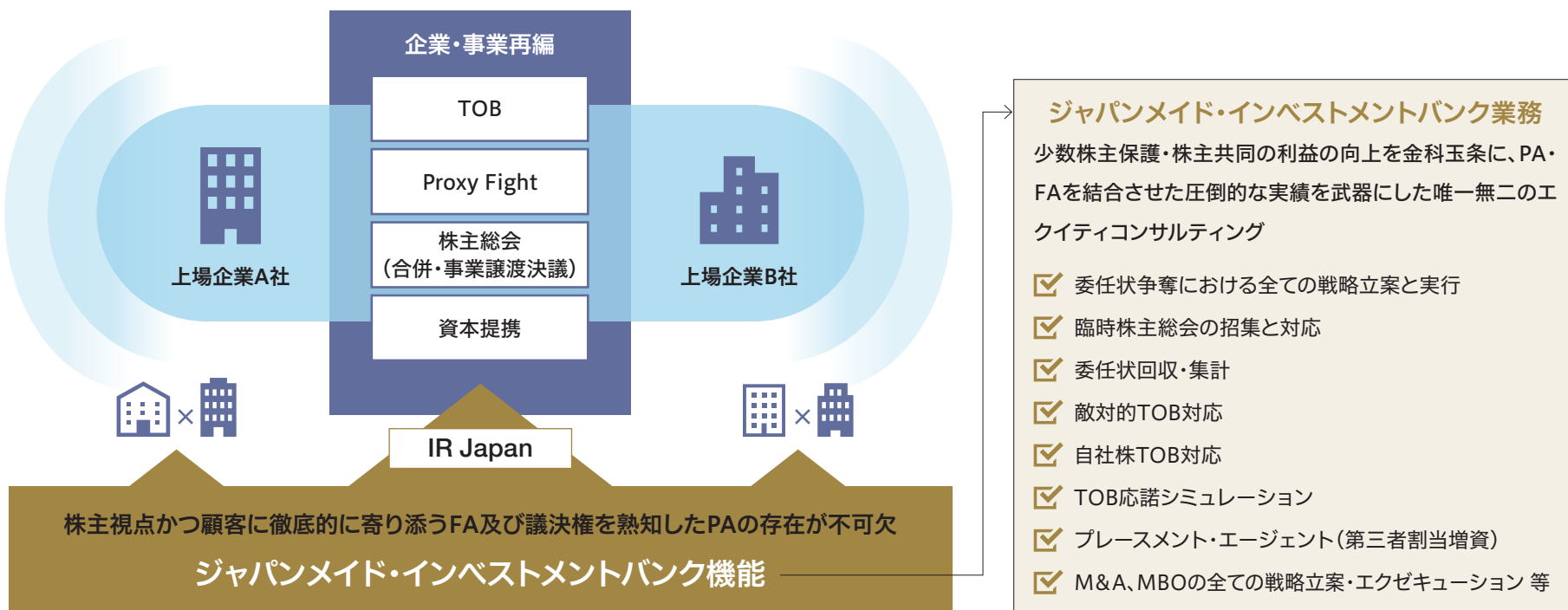
「ジャパンメイド・インベストメントバンク」とは

当社のお客様である上場企業においては、グループ再編、経営統合、資産売却、資本提携の見直し、親子上場の解消、事業のスピンオフ等抜本的な企業ならびに事業再編を具現化する動きが、ここにきて急速に進展しつつあります。この動きは従来の友好的な活動だけでの領域にとどまらず、敵対的な行動も含めて活発化し始めています。すなわち、我が国においてもストラテジックバイヤー（国内・海外事業会社）や大株主による支配権争奪が、企業の成長戦略の重要な手段として定着しつつあると言えます。さらに、この動きを加速するカタリストであるアクティビストは、上場企業に具体的な提案を行うとともに、究極の手段である敵対的TOBや臨時株主総会開催等のイ

ベントドリブン戦略を実行する段階に入ってきました。

こうした状況下において、今、当社が持つ「ジャパンメイド・インベストメントバンク」機能の重要性が高まっています。なぜなら、企業再編・企業支配権争奪に関する巨大M&A市場において、TOBの実現可能性ならびに委任状争奪における議決権の確保は、最も重要な業務であるからです。当社が唯一無二のPA・FA業務として誇るTOBならびに委任状争奪の圧倒的な実績とノウハウが、極めて高い評価を受け、大型案件受託を加速する原動力となっています。

▶▶ 巨大M&Aアドバイザリー業務における当社の位置づけ



株式の状況

2020年9月30日現在

株式の状況

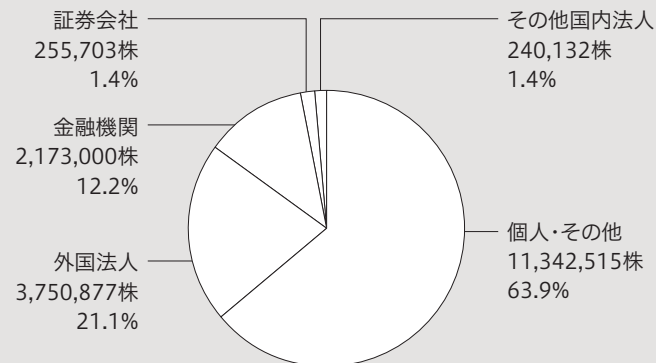
発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式の総数	17,838,310株 (自己株式76,083株を含む)
株主数	4,120名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
寺下 史郎	9,054,800	50.98
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	828,000	4.66
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	491,544	2.77
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	411,600	2.32
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	292,100	1.64
BBH FOR UMB BANK, NATIONAL ASSOCIATION-OBERWEIS INT OPP INSTITUTION FD	236,300	1.33
45 アイズ株式会社	200,100	1.13
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	161,400	0.91
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	154,800	0.87
JP MORGAN CHASE BANK 385781	150,704	0.85

※持株比率は自己株式(76,083株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



※自己株式(76,083株)を控除して計算しております。

当社ウェブサイトにて「株主・投資家情報」を掲載しております。

ぜひご覧ください。

https://www.irjapan.jp/ir_info/



IRJHD IR

本誌に掲載している情報のうち過去の歴史的事実以外のものは、現在入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による当社の将来の見通しであり、経済動向、市場需要、税制や諸制度の改正等、リスクや不確実な要素を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの要素によって変動する可能性があり、当社は皆様が本誌の情報を使用されたことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本誌に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当の基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 この他、必要があるときはあらかじめ公告して定めます。
株主総会の基準日	定時株主総会については3月31日といたします。 この他、必要があるときはあらかじめ公告して定めます。
定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	電子公告 (https://www.irjapan.jp/ir_info/release/publicnotice.html) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	株式会社アイ・アール ジャパン
お問い合わせ先	〒100-6026 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 霞が関ビルディング26階 0120-975-960

住所変更・単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

お取引口座のある証券会社にお申し出ください。

未払配当金のお支払について

上記お問い合わせ先までお申し出ください。

会社概要

商号	株式会社アイ・アール ジャパンホールディングス (英文: IR Japan Holdings, Ltd.)
本社所在地	〒100-6026 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 霞が関ビルディング26階 URL: https://www.irjapan.jp/
設立	2015年2月
資本金	8.3億円(2020年9月30日現在)
主要子会社	株式会社アイ・アール ジャパン ● 宅地建物取引業者「東京都知事(1)第100534号」 ● 第一種金融商品取引業者「関東財務局長(金商)第2624号」 ● 株式事務代行機関 ● 指定株主名簿管理人等 ● 日本証券業協会加入 ● 全米機関投資家協会名誉国際参加者 ● 投資評価機関認定会社 ● 公益社団法人日本証券アナリスト協会賛助会員 ● 日本IRプランナーズ協会会員 ● 日本IR協議会会員 ● 有料職業紹介事業許可書「許可番号13-ユ-303368」

株主アンケート

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまへの情報開示の充実に努め、当社の経営をより一層ご理解いただけるIR活動を行っていきたく考えています。つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、下記アンケートサイトにアクセスしていただき、アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

アンケートサイト(画面)への接続方法



<https://kabuhiro.jp>

Yahoo!やGoogleなどの検索エンジンからアンケートサイトを呼び出してください。

株主ひろば

ご回答方法

アンケートサイト(<https://kabuhiro.jp>)画面中央の入力ボックスに、アンケートナンバーを入力して回答画面にお進みください。

アンケートナンバー ●●●●●●●●
アンケート実施期間 2020年12月31日まで



「株主ひろば」にアクセスし、アンケートにご回答いただいた「アンケート画面に進む」ボタンをクリックすると、アンケートナンバーの入力画面が表示されます。

kabunushi-hiroba
株主ひろば

このアンケートは、諸費用(郵便料金など)の削減と集計作業の迅速化を目的として、アイ・アール ジャパンが運営するWebアンケートシステム「株主ひろば」を利用して実施しています。

操作方法などのお問い合わせ先

株式会社アイ・アール ジャパン 株主ひろば事務局
E-mail: kabuhiro@irjapan.co.jp

